

# 自動化を始めるための 6つのステップ

組織でどのような技術的な職務を担う人にも、後にさまざまなチームが採用し拡張することができる一連の標準的なベストプラクティスを主導し、開発する機会があります。このチェックリストは、自動化の取り組みを開始するにあたり強固な基盤を築くためのガイドです。自動化の時間的なメリットの実現に役立つ考慮事項を、いくつか簡単に説明します。

## 1 ベストプラクティスを確立する

### ソフトウェア開発者のように考える

短いリリースサイクルでスプリントを行い、Ansible® コンテンツのバージョン管理を注意深く監視することで、自動化のメリットをより早く実現できます。

### 大きな視点を持ちつつ、小さく始める

適切なプロセスと行動が定着する前に、最も複雑な自動化のユースケースに取り組むことは避けましょう。通常、当社のお客様はいくつかの小規模なタスクの自動化から開始し、そこから広がっていきます。

### IT部門の経験を評価する

Ansible コンテンツの作成におけるチームの現在の経験レベルを評価することで、チームの Ansible に関するスキルを把握しましょう。これには、Playbook、モジュール、ロール、プラグインが含まれます。

以下の尺度を使用して、チームが持つ Ansible の専門知識のレベルを特定します。

1. なし：チームは Ansible コンテンツを作成したことがない。
2. 初級：チームは Ansible コンテンツをいくつか作成したことがある。
3. 中級：作業を容易にこなせるチームメンバーもいるが、追加のトレーニングが必要なメンバーもいる。
4. 上級：チームにはコンテンツ開発の長年の経験があり、他の人を支援できる。

### 実践コミュニティ (CoP) を育てる

アイデア、ベストプラクティス、自動化コンテンツを共有できる場を作りましょう。部門を超えたコラボレーションと知識の共有は、自動化の拡張に不可欠な要素です。

詳細は、こちらの [CoP に関するガイド](#) をご覧ください。

## 2 発見し、定義する

最も有益な成果を生み出すには、自動化の目標をビジネス目標に合わせて、それが組織の長期戦略に適合するようにする必要があります。実現可能な期待値を設定することが重要です。現在の状況と、どのユースケースを優先したいのかを理解する時間を取りましょう。

### ITに関する最大の課題は何か

一般的な IT の課題には次のようなものがあります。

- ▶ システム間でソフトウェア更新に一貫性がない
- ▶ 承認プロセスがプロビジョニングの遅延を引き起こす
- ▶ サポートの問題に多くの時間を費やしている
- ▶ コンプライアンス要件の変更管理の文書化と監査

自動化に対する一般的な障害には次のようなものがあります。

- ▶ 使用されている自動化ソリューションの数や種類が多すぎる
- ▶ 組織全体での自動化の共有と再利用が難しい
- ▶ 自動化領域全体でのプロアクティブなコラボレーションの促進

### ビジネス上の最重要目標は何か

自動化の目標をどの組織目標に合わせるべきかを特定しましょう。一般的なビジネス目標には、収益の増加、リスクの軽減、アジリティの向上、カスタマーエクスペリエンスの向上、生産性と効率の向上などがあります。

また、新規アプリケーションの立ち上げ、市場投入時間の短縮、特定の分野におけるコストの削減を検討している場合もあるでしょう。

### 3 自動化するタスクを選択する

自動化の取り組みに集中するために、次の 2 つのことについて考えてください。

1. 自動化によって向上が見込まれる重要な取り組みはありますか？
2. 最初に自動化して価値を提供し、効率化を実証できるであろう、シンプルで繰り返し可能な手動プロセスは何ですか？

これらの質問に対する答えを、特定した手動プロセスや手作業による課題の 1 つを解決 (またはその負担を軽減) する、組織のビジネス目標に沿った 3 ~ 5 個の小規模ながらも重要なタスクに絞り込みます。

#### 成功する可能性が高いユースケースを選ぶ

自動化の取り組みに対して明確な投資対効果 (ROI) を示すユースケースを見つけたいとはいえ、過度に複雑なものは避けるべきです。

早期に成功を確立し、学んだことを同僚やリーダーシップチームと共有できる、短期間の反復的な進歩という観点から考えてください。

単一のチームの領域内にあるユースケースを選択する場合、チームが完全に制御できるプロセスやワークフローを自動化することで、初めから複雑化することを避けられます。そしてこの初期チームが自動化エキスパートになり、他のチームを訓練することができます。

### 4 節約を予測する

自動化タスクの優先リストができたなら、Red Hat® Ansible® Automation Platform に搭載されている自動化分析を使用して、各自動化タスクに対する時間とコストの節約を計画し予測することができます。

Savings Planner ツールを使用すると、さまざまなプロジェクトを相互に比較できます。これにより、実行が比較的簡単でありながら大きな効果が得られる作業を優先することができます。

詳細は、ブログ記事「[自動化の ROI の予測および追跡方法](#)」を参照してください。

注：データを [console.redhat.com](https://console.redhat.com) に接続する必要があります。その方法は[こちら](#)。

### 5 最初の Playbook を作成する

Ansible Automation Platform には、立ち上げと実行を加速するために役立つ 2 種類のコンテンツ (Red Hat Ansible Certified Content と Ansible 検証済みコンテンツ) が付属しています。コンテンツはネットワーク、セキュリティ、運用、開発者、インフラストラクチャの各チームで共有できるため、誰もがメリットを享受できます。

Red Hat Ansible Certified Content は、Red Hat Enterprise Linux®、ServiceNow、Palo Alto Networks、F5、Microsoft Azure など、140 以上の業界プラットフォームおよびソリューションの自動化に役立ちます。

Ansible 検証済みコンテンツは、クラウド、ネットワーク、セキュリティなどに関する一般的な運用タスクを実行するためのエキスパート主導のアプローチを提供します。検証済みコンテンツはカスタマイズ可能なため、実際に試して、使いながら学ぶことができます。

### 6 成功を追跡する

Reports ダッシュボードで、仕事の成功を追跡し、現在使用中の自動化を確認できます。Automation Calculator は、コストと時間の節約という観点から投資対効果 (ROI) を測定します。

- ▶ [Automation Analytics](#) にログインして、自動化の成果を測定しましょう。
- ▶ 自動化の価値を証明する成果を、必ずリーダーや同僚と共有しましょう。

#### 今すぐ始める

動画ツアー、技術トレーニングなど、[始めるために役立つ](#)多くのリソースをご確認ください。

#### 実践的なラボを試す

実際のシナリオに取り組み、IT の課題を解決する、[自習型のインタラクティブラボ](#)を体験できます。



#### Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

f [fb.com/RedHatJapan](https://fb.com/RedHatJapan)  
 t [twitter.com/RedHatJapan](https://twitter.com/RedHatJapan)  
 in [linkedin.com/company/red-hat](https://linkedin.com/company/red-hat)

jp.redhat.com  
 #245720\_0323

**アジア太平洋**  
 +65 6490 4200  
[apac@redhat.com](mailto:apac@redhat.com)  
**オーストラリア**  
 1800 733 428  
**インド**  
 +91 22 3987 8888

**インドネシア**  
 001 803 440 224  
**日本**  
 03 4590 7472  
**韓国**  
 080 708 0880

**マレーシア**  
 1 800 812 678  
**ニュージーランド**  
 0800 450 503  
**シンガポール**  
 800 448 1430

**中国**  
 800 810 2100  
**香港**  
 800 901 222  
**台湾**  
 0800 666 052

Copyright © 2023 Red Hat, Inc. Red Hat、Red Hat ロゴ、および Ansible は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。